

平成24年度技術士第二次試験問題【環境部門】

必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 次の問題について解答せよ。(答案用紙3枚以内にまとめよ。)

政府全体の環境保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱を定める国の環境基本計画は、平成18年4月に第三次計画が閣議決定された後、平成23年3月より中央環境審議会において新たな計画に向けての審議が進められていたが、平成24年4月答申がなされ、第四次環境基本計画が閣議決定された。この計画の「はじめに」の部分には、

東日本大震災の被害や影響を契機に、多くの国民が、自然の持つ圧倒的な力に対し、社会やシステムの脆弱性など、人間の力の限界を改めて認識した。また、大量の資源・エネルギーを消費する今日の社会のあり方を見つめ直すとともに、自然との関わり方や安全・安心の視点を含めて、社会を持続可能なものへと見直していく必要性を改めて意識するなど、国民の間に大きな価値観や意識の変化が生じている。一方、被災地のみならず、我が国全体において、人と人とのつながり、地域とのつながりやボランティアなどの社会への貢献が強く意識されるようになった。こうした変化を受け、今後の環境政策のあり方に大きな変革が求められている。

という基本的認識が記されている。これに関連して次の問いに答えよ。

- (1) 今後重点的な環境政策の展開が必要とされる課題を3つ挙げて、それぞれでどのような変革が求められているか、あなたの考えを述べよ。第四次環境基本計画の内容を引用することは差し支えない。
- (2) 上記(1)で述べた「求められている変革」の中から、あなたが最重要と考える1つを取り上げてその理由を述べ、さらに、「技術士とは、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者」という技術士法第二条の定義を念頭において、技術士がどのような形でその変革に貢献できるかを論述せよ。